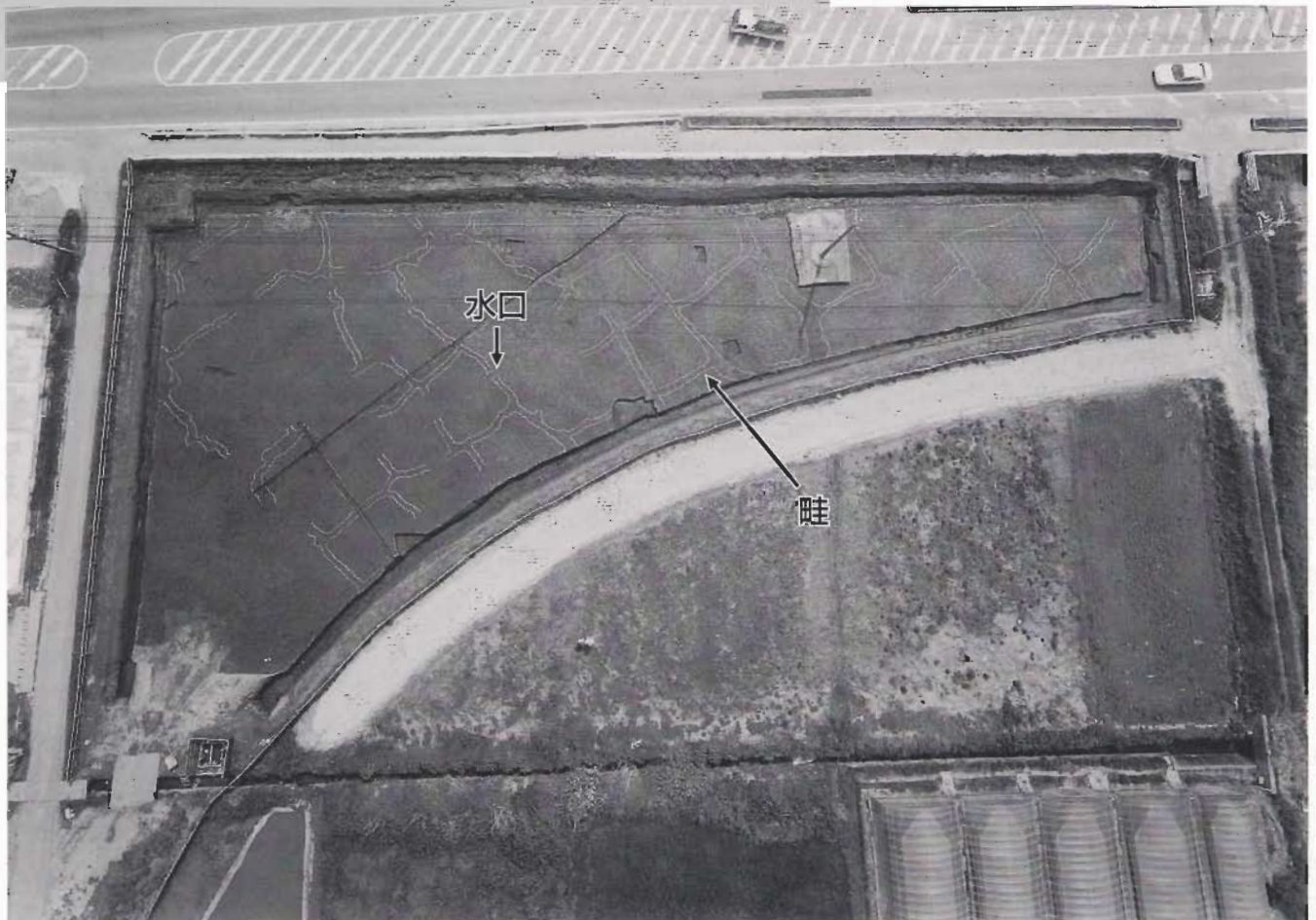


# みやざき

発行日 平成10年8月3日  
発行 宮崎県埋蔵文化財センター  
〒880-0053  
宮崎市神宮2丁目4-4



## 古代の水田の広さは？

上の写真は、宮崎市大字<sup>とみやし</sup>富吉（宮崎西インターチェンジ建設予定地）の<sup>ともしろ</sup>友尻遺跡で見つかった古代の水田跡です。畦（あぜ）の跡が残っていて、水田の区画がわかりました。畦はほぼ東西方向と南北方向に走り、交差して一辺6～7mの小規模な水田区画をつくっていました。調査区域（1,740㎡）では30数枚の区画が認められました。また、畦の途中で切られているところがあり、<sup>みなくち</sup>水口がつくられていたこともわかりました。この水田跡は、自然科学分析（年代分析）の結果及び土師器片など遺物の出土のようすから、奈良時代頃の水田跡であると思われます。自然科学分析のプラント・オパール分析という方法によって、一区画あたりの稲の生産量もわかりました。また、当遺跡では、上の層においても中世の水田跡が検出されています。一辺が10m四方のやや大きめの水田で、約6枚の区画が認められました。耕作面にはたくさんの人や牛の足跡が残っていました。

## 遺跡の紹介

### かみ まき 上牧第2遺跡 (都城市横市町)

遺跡は、大淀川の支流にあたる庄内川の右岸、標高約182mの丘陵地に位置しています。

調査の結果、縄文時代中期後半から後期、古墳時代～中世まで幅広い時代の遺構・遺物が確認されています。

中でも注目されるのは、縄文時代後期初頭の遺物を伴う2軒の竪穴住居跡です。直径4～4.5mの円形プランで中央に土坑を持ち、中から石皿・焼けた土・炭化物が確認されました。



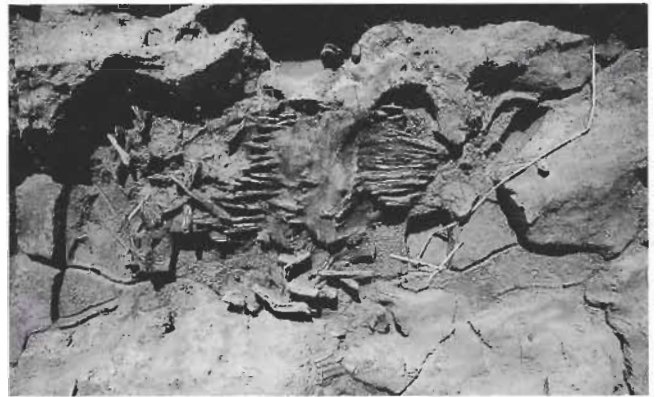
縄文時代後期の住居跡

### まら やしき 町屋敷遺跡 (宮崎市大字系原字池ノ内)

遺跡は、宮崎市の北西部、大淀川の左岸に形成された標高9mの沖積地に立地しています。

調査の結果、古墳時代から中世にわたる3時期の水田跡が確認され、水利施設である井堰跡が3ヶ所検出されました。

遺物としては、井堰が検出された溝から弥生時代後期から古墳時代中期にかけての壺・甕を中心として、古代の土師器も出土しています。また、扇状・柱状の木製品も出土しました。



井堰の跡

### かみ の はる 上ノ原遺跡 (佐土原町西上那珂字上ノ原)

遺跡は、佐土原町北西部の標高約90mの台地上に位置しています。

調査の結果、縄文時代早期の集石遺構16基・炉穴38基など調理を行ったと考えられる遺構や、陥し穴の遺構26基が確認されました。また、遺物としては、ナイフ形石器・三稜尖頭器・スクレイパーなど数多くの石器や、山形や楕円形の押型をもつ縄文時代早期の土器も出土しました。南九州の旧石器時代から縄文時代の始まりを考える上で重要な遺跡となりそうです。



炉穴の跡

### つか ぼる 塚原(C地区)遺跡 (国富町大字塚原)

遺跡は、本庄川の左岸に形成された標高約35mの塚原台地の東端部に位置しています。

調査の結果、縄文時代草創期から早期までの集石遺構12基や、弥生時代の土壌墓3基、古墳時代前期の円墳が確認されました。

遺物としては、縄文時代草創期の隆帯文土器が多数出土しているほか、細石核・細石刃などの石器類、古墳時代から古代にかけての土師器や須恵器などが出土しています。



古墳の主体部



# 発掘作業はどうやるの？

## Q 遺跡のある場所はどうやって確認するのですか？

A まず、分布調査を行います。例えば、強い雨が降った後の畑の表面には、土器片や石器片・貝殻片が落ちていたりします。また、工事で削られた所に住居跡などの輪郭が見つかったり、特殊な例として畑の耕作のためにトラクターで天地返しされた土中に遺物が見つかることもあります。こうした場所は、遺跡である可能性があるため地図の中に記録していきます。

さらに、そうした発見情報と地元での伝承などを集め、それをもとに実際現地を歩いてみて（現地調査）、遺跡の位置と時代を確認します。こうしてできあがったものが、各市町村教育委員会などにおいてある「遺跡分布調査報告書」です。

このようにして、遺跡のある場所を確認します。

遺跡の種類にもよりますが、地形的に日当たりのよい場所や水の便のよいところには遺跡があるようです。

## Q 発掘調査って実際はどうやるのですか？

A 実際の発掘調査の概要を東九州自動車道建設に伴って調査された遺跡を中心として説明します。



① 試掘調査を行って遺跡の深さや遺構・遺物のある場所を確認します。



② 調査区が決まったら遺跡の表面を覆う土を重機により除去します。

③ 調査区内に方眼状に杭を打ち地区割りを行います。



④ 表土を除去した後、丁寧に表面を削り土の色や堅さの変化から昔の人の生活の痕跡（遺構）を探します。



⑤ 遺構があらわれたら、その中を注意深く掘っていきます。



⑥ 移植ごて・竹べら・手ぼうきを使って当時の姿を現すように慎重に作業を進めます。



⑦ 遺構に残っていた昔の人が使っていた道具（遺物）が徐々に姿を現します。



⑧ 遺物を取り上げて遺構を完全に掘り上げます。



⑨ 遺構の形や遺物の出てきた状態を写真や図面に記録します。



⑩ 調査終了後、遺跡の内容を広く知ってもらうために現地で説明会を行ったりもします。

# 発掘作業を体験してみても...

宮崎県埋蔵文化財センターでは、埋蔵文化財保護の啓発と促進を目的として、埋文講座、現地説明会、小・中・高生を中心とした体験学習など様々な企画をしています。特に、昨年度は体験学習の申し込みが増え、多くの児童・生徒のみなさんが参加してくれました。あなたの学校・学級も発掘作業の体験をしてみませんか。詳しくは、宮崎県埋蔵文化財センターまでお問い合わせください。

## 「職場体験学習の感想」

宮崎北中学校 3年 高野 晃 弘

僕は、職場体験学習で、埋蔵文化財センターに行きました。午前中は、木脇遺跡で実際に発掘調査を経験しました。手グウという道具で、少しずつ掘り下げていきました。しばらくして、土器が出てきたときには、とても感動しました。小さな土器のかけらが出てくると、竹串をたて、ヘラでいぬいに土をどけていきます。単純な作業のようですが、これがなかなか大変でした。出てきた土器は調査員の方が写真を撮ったり、図面にとったりされていました。



午後からは、国富の埋蔵文化財センターで、土器を復元する仕事をやりました。センター内での仕事は、遺跡での発掘作業よりも楽だろうと思っていましたが、これがまた大変でした。長い時間椅子に座って、ピタリと合う土器のかけらを探す作業でした。結局、僕はひとつも合わせることができませんでした。センター内で作業されている方に、「中には1週間も2週間もかかるものがありますよ」と聞いて、びっくりしました。僕がやった仕事の他にもセンター内では、土器を洗ったり、図面を書いたり、写真を撮ったりする仕事がありました。後で、いろいろな遺跡から出てきた物を見せてもらい、とても興味がわいてきました。職場体験学習ということで、発掘調査の仕事を体験させていただきとても感謝しています。わずか一日だったけれど、発掘調査という仕事の大変さと楽しさがわかったので、本当に良かったです。この体験を生かしてこれからの学校生活も頑張ろうと思います。

## 埋文講座の案内

毎月第4土曜日 13:30~15:00 (9月を除く)

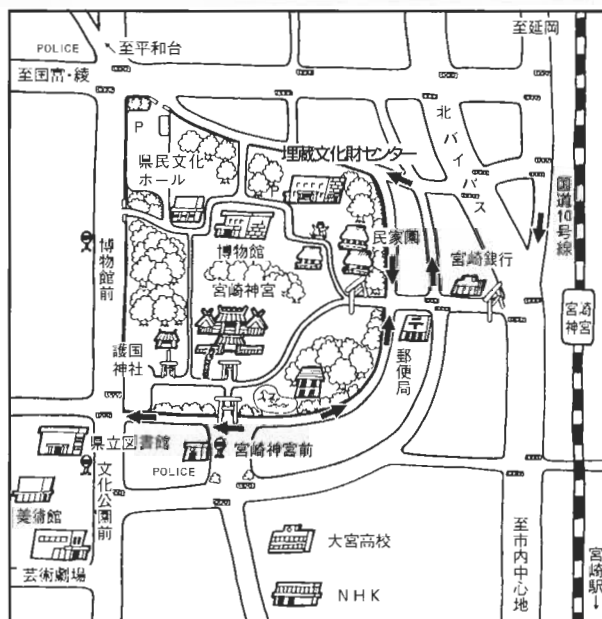
年間テーマ『旧石器・縄文時代の生活』

- 4月25日 旧石器時代の概説
- 5月23日 縄文時代の概説
- 6月27日 旧石器時代の生活と道具
- 7月25日 旧石器時代の遺跡(長藪原遺跡)
- 8月22日 旧石器時代の遺跡(上ノ原遺跡)
- 9月26日 シンポジウム

『旧石器から縄文時代の生活を考える』

会場 ◆県民文化ホール  
時間 ◆13:00~16:00

- 10月24日 縄文時代の立地と環境
- 11月28日 縄文時代の用具(土器・石器)
- 12月26日 縄文時代の生活(住居)
- 1月23日 縄文時代の生活(生活遺構)
- 2月27日 縄文時代の遺跡(白ヶ野遺跡)
- 3月27日 縄文時代の遺跡(竹ノ内遺跡)



- 観覧時間  
午前9時~午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日  
毎週月曜日  
国民の祝日の翌日  
年末年始(12月28日~1月4日)
- 入館料 無料

- 交通案内**
- 宮崎神宮駅(JR)-徒歩10分
  - 宮崎神宮行きバス  
神宮終点下車徒歩10分
  - 綾・国富・平和が丘行きバス  
「博物館前」下車徒歩2分

## 宮崎県埋蔵文化財センター

宮崎市神宮2丁目4-4 (〒880-0053)  
TEL 0985-21-1600 FAX 0985-26-2634